

公表施設における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス STAY GOLD		公表日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		構造化はできているが、バリアフリー(階段)や防音対策ができていないため、環境面での障壁がある。できる範囲内での環境調整や対策は、今後も都度実施していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清潔で過ごせるように環境整備（掃除、消毒等）に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	職員会議で毎回業務改善の議題は挙げて、話し合いや環境設定は実施している。定期的な効果測定やフィードバックなどは実施できていないため、今後の課題。	今後はきちんと取り組みに対して、客観的な効果測定、変化点を職員で共有し、定期的な評価と改善を繰り返していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		新規立ち上げのため、十分な評価期間がなかった。今年度より保護者様からの評価・フィードバックを実施。今後は年に1回実施予定。業務改善につなげていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月勉強会があり、受講する機会が設けられている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		記載すべき項目（目標）が漏れていた箇所があったため、今後はきちんとガイドラインに則った計画書を作成・更新していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎週、活動内容を変えて子ども達が 選択できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせる支援を行っているか。	3	2	活動の中で時折、地域の人（店員さん）と 交流はあるが、限定的である。	地域交流する機会がほとんどないため、長 期休み期間を利用して様々なイベントや活 動を企画していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	4	1		事業所や分野ごとによって対応は異なるが 、お互いに情報共有を図りながらよりよい 支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	必要に応じて情報共有を行っている。法人 内の場合は、きちんと情報共有が行われて いる。	対象児がいる場合は、情報共有と相互理解 を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	2	3		該当者なし。対象児がいる場合は、情報共 有と相互理解を図る。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	法人内でスーパーバイズや助言や研修を受 ける機会がある。	必要に応じてスーパーバイズからの助言、 研修を依頼し、スキルアップを図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。		5		事業所独自での地域交流はほとんどきて いない。要望(必要性)もあれば地域住民も 参加できるイベントなどを検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	5		LINEやHUG（アプリ）を用いて、日頃の 様子を写真や文章で伝えている。	仕事の都合などで会う機会が少ない保護者 様の場合、モニタリングなどの面談機会し か直接話すことができない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者会の中で、保護者向け研修を実施し ている。	保護者会は法人全体で年に1回しか実施で きていない。定期的な研修の開催ができな いか検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者会は法人全体で年に1回実施しているが、定期的な保護者交流する機会はほとんどない。	事業所内で親子参加型イベントを企画し、定期的に交流できる機会を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		事業所独自での地域交流はほとんどできていない。要望(必要性)もあれば地域住民も参加できるイベントなどを検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	アレルギー対応は独自で行っているが、医師の指示書までの対応はできていない。	重篤なアレルギー症状がある対象児については、保護者と連携して医師の指示書の基にマニュアルを作成する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		安全計画は作成されているが、細かいところまで職員に周知できていないため、きちんと周知していく。研修や訓練の質を向上させていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		まずは、職員がしっかり安全計画の内容を理解する必要がある。安全計画に則った役割を認識したうえで、保護者や行政と連携していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス STAY GOLD			
○保護者評価実施期間	R5 年 9 月 1 日		～	R7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	R5 年 9 月 1 日		～	R7 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 2 月 3 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動を通じた支援	子どもたちが楽しみながら学べる多様な活動を提供しています。これらの活動（お仕事体験）を通して、お仕事のプロセスや大変さ、アイデア（ひらめき）、達成感を学ぶことを目的としています。子どもたちが、楽しみながら学べる環境を整備しています。これにより、子どもたちが主体的に活動に取り組む姿勢も育てています。	各々の職員がスキルアップ（自己研鑽）を通じて、活動や支援の質を高める取り組みを継続的にを行っています。
2	将来を見据えた支援	活動内容は単なる遊びにとどまらず、子どもたちが「仕事」や「役割」を体験できる場を提供しています。これにより、社会性やお金のリテラシーを学び、将来の自立に向けた基礎を築く支援につながります。めだか育成や水耕栽培など、自然や実生活に触れる活動を取り入れることで、子どもたちに達成感や責任感を持たせる工夫もしています。就労を見据えて、工場見学（職場体験）、買い物、公共交通機関の練習（長期休みに限る）などの体験も行っています。	各学齢期に応じた「社会的マナー・ルール」や「お金のリテラシー」などを伝えています。
3	商品の製造から販売までの実践的な体験ができる	実際に商品を製造（養殖）して、直売所や法人内の施設で育てた野菜やメダカなどを販売しています。実際に売り上げたお金はすべて子どもたちの活動費（おもちゃ、飲食、イベント等）にまわして、子どもたちが主体となって使い道を計画・立案し、みんなで協力して目標達成できるように行っています。	具体的な使い道（目的）を決め、みんながその目標に対していくら必要になるかを見据えたうえで、商品を継続的に安定供給できるように職員と子どもも協力していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の幅広さによる負担	多様な活動を提供しているため、職員の専門性や準備にかかる負担が大きいです。特に、野菜の栽培やメダカの養殖、写真・動画編集などの分野では、継続的な知識のアップデートが必要です。多様な活動を提供する中で、質を維持しながら継続するためのリソース（人材、資金、時間）の確保が課題です。	準備時間の確保：子どもたちが来るまでの空き時間を利用して、各々がスキルアップや準備の時間に充ててもらい、活動の質の向上、職員の負担軽減を図っています。
2	利用者層のニーズの多様性	子どもたちの支援を行う中で、個々のニーズに応じた対応が求められるため、支援内容の調整が難しい場合もあります。障がいの特性や程度が異なる子どもたちに対し、個別に対応するための体制強化が必要です。	活動の多様化と柔軟性：子どもたちの興味やニーズに応じて、新しい活動を検討するなど、柔軟な対応を行っています。専門性の向上：専門職種がいらない中、学習面や感覚面に課題を抱えている子ども達の支援を行う必要があるため、多職種と連携し、情報共有を行ったり、教えてもらったりして対応しています。
3	保護者や地域住民とのさらなる連携	地域住民や他の福祉施設との連携をさらに深めることが課題となっています。	保護者や地域との協力体制の強化：見学会やイベントを通じて、保護者や地域との連携を深め、支援の質を向上させる取り組みを今後行っていく予定です。一過性のイベントではなく、継続的な活動を通じて、保護者や地域住民の関与を高めていきます。

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
放課後等デイサービス STAY GOLD		R7 年 2 月 日		17 名		12	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9			3		職員配置数は児童数に応じて、基準通り満たしていますので、ご安心ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		1		事業所の構造上、バリアフリー化が難しい（階段等）ですが、段差解消や環境調整などできる改善は今後も行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1				記載すべき項目（目標）が漏れていた箇所があったため、今後はきちんとガイドラインに則った計画書を作成・更新していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	1	5		地域の子ども達や他事業所との交流イベントは実施しておりません。必要に応じて検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		1		年に1回、保護者会の中で保護者向け研修(ペアレント・トレーニング等)を行っています。提供機会が少ないため、要検討。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1				当事業所は自宅への送迎時やHUG、LINEを通じて、子ども達の日頃の様子をお伝えさせていただいています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	1	4		保護者同士の交流機会が少ない（年1回の保護者会のみ）ことも踏まえ、今後は親子参加型のイベント開催なども検討していきたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1			LINE、HUG、送迎時の引き継ぎで、保護者様とのコミュニケーションを大切にしています。情報伝達が不十分なこともあるかと思いますが、その際はお気軽にお問い合わせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11			1	今年度より自己評価表を公開し、サービスの質向上に努めてまいります。利用児や保護者からのフィードバックを基に改善を図っていきます。Instagramも不定期ですが、更新しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			2	災害時の対応については、契約時に配布済。台風や感染時の対応については、その都度ご連絡させていただきます。災害訓練（全体）、救急蘇生訓練（職員のみ）は実施済。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			4	災害訓練は年2～3回、子ども達交えて実施しています（地震、火災想定）。実践的な訓練を行うため、災害訓練日はあえて事前にお伝えしていません。ご了承ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1			建物の構造上、危険な箇所もあるため、すぐに対策できるところは都度改善してます。大きな費用がかかる箇所については随時検討させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1	発熱や怪我があった際は、その都度LINEに連絡を入れさせていただきます。具体的な事象については、後日HUGにて伝えさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				